2027年3月期第2四半期（中間期）

決算補足説明資料

2026年11月13日

未来を包む - Inclusion for Future -

大石産業株式会社

東証スタンダード、福証: 3943

Index

目次

01 会社概要

02 2027年3月期　第2四半期(中間期)決算報告

03 2027年3月期　業績予想

04 APPENDIX

01　会社概要

会社概要

包装資材の総合メーカーとして、消費者の生活や物流に欠かせない高品質な製品を提供

社名	大石産業株式会社
設立	1947年2月（創業：1925年4月）
本社所在地	福岡県北九州市八幡東区桃園2-7-1
資本金	466,400,000円
決算期	3月
従業員数（連結）	607名（連結）（2026年9月末時点）
株主数	10,824名（2026年9月末時点）
事業内容	産業用包装資材（パルプモウルド、段ボール、フィルム、重包装袋等）の製造販売等
連結子会社	• CORE PAX(M) SDN.BHD.（重包装袋の製造販売） • ENCORE LAMI SDN. BHD.（ラミネート製品の製造販売） • 柳沢製袋株式会社（重包装袋の製造販売） • FUSIONS TRADING MALAYSIA SDN.BHD. （マレーシア国における日本産農産物等の輸入販売）



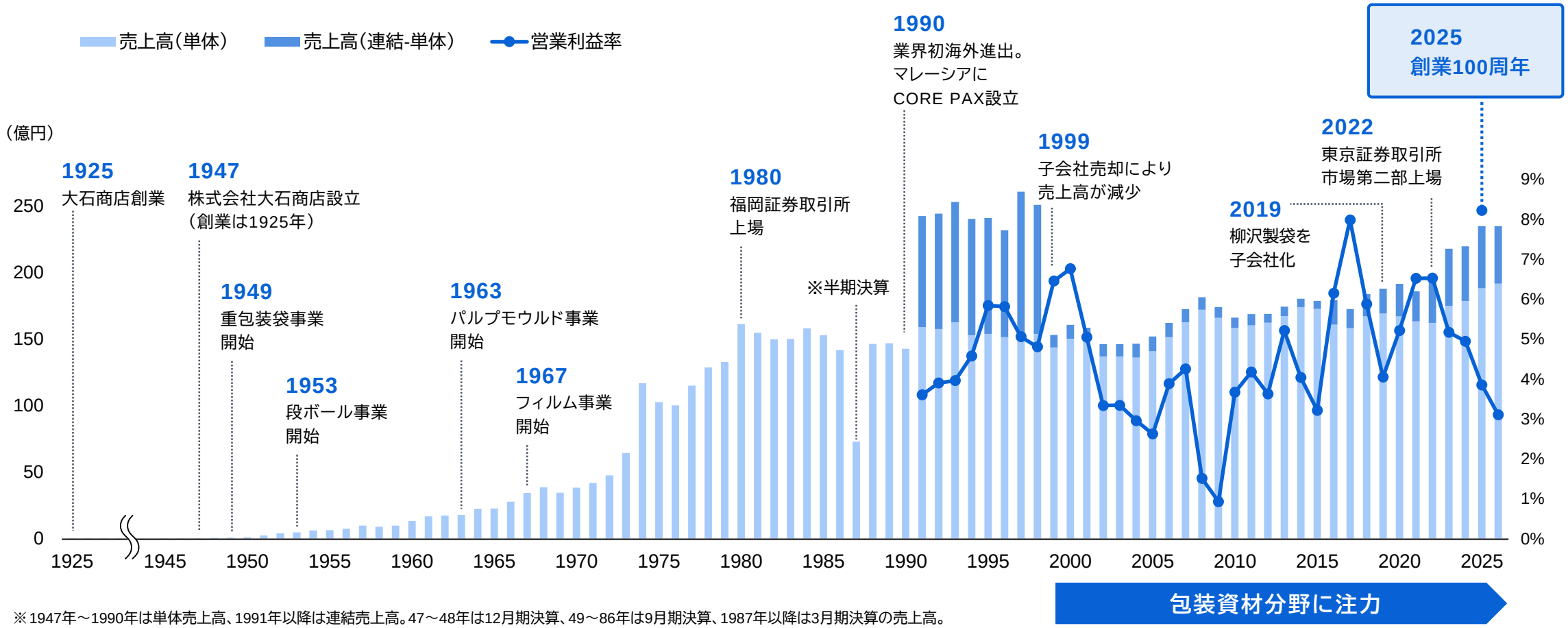
代表取締役社長　**山口 博章**

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

沿革

1947年の設立以来、主要事業で堅調に推移
原材料・エネルギー価格変動の影響で利益増減はあるものの、赤字なしで推移

売上高・営業利益率推移※



※1947年～1990年は単体売上高、1991年以降は連結売上高。47～48年は12月期決算、49～86年は9月期決算、1987年以降は3月期決算の売上高。

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

事業拠点

日本全国に営業・生産拠点を保有し、国内のお客様のニーズに迅速に応える体制を構築
また、マレーシアにも営業・生産拠点・その他事業を展開

国内


本社



パルプモウルド鞍手工場

マレーシア



CORE PAX

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

事業内容

パルプモウルド、段ボール、成型を含む緩衝機能材、フィルム、重包装袋を含む包装機能材を基幹事業として展開

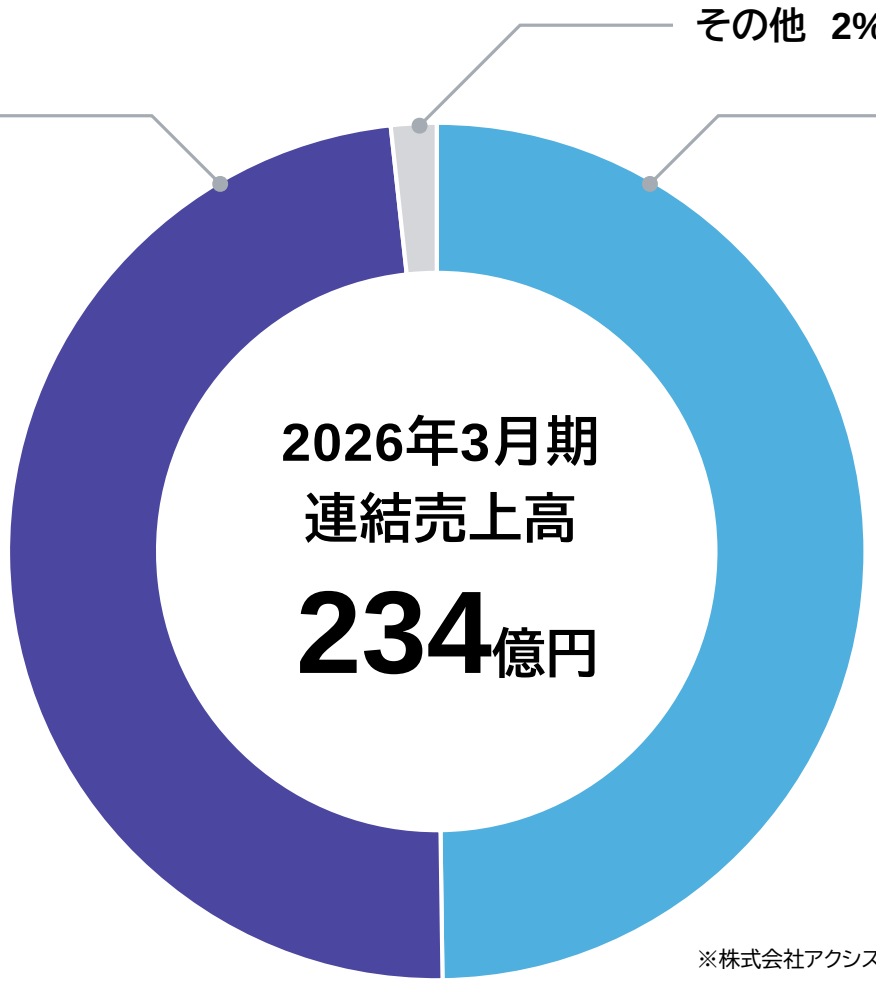
包装機能材事業

49%

フィルム	45億円（19%）
重包装袋	68億円（29%）

下記連結子会社を含む

- CORE PAX
- ENCORE LAMI
- 柳沢製袋



緩衝機能材事業

50%

パルプモウルド	68億円（29%）
段ボール	35億円（15%）
成型	11億円（5%）

※株式会社アクシス（現：DX推進部）、FUSIONS TRADING MALAYSIAにて展開するその他事業

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

製品紹介

消費者の生活に欠かせない各種製品から、物流・製造業を支える各種包装材を製造

緩衝機能材事業

パルプモウルド

- 鶏卵パック



- ドリンクキャリア



- 工業品用トレー



- 食品容器



段ボール

- トマトトレー＋ケース



- 鶏卵トレー＋ケース



- 工業用ケース



- 農畜産用ケース



成型

- ゆりかーご



- 食品トレー



包装機能材事業

フィルム

- 衛生材料用フィルム・食品用フィルム・電子材料向け等







重包装袋

- 業務用小麦粉用・化学薬品用・合成樹脂用等







Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

事業ハイライト（一目でわかる当社）

売上高成長率

20年3月期 ▶ 26年3月期

CAGR +4.1%

経常利益率

26年3月期

4.2%

海外売上高比率

26年3月期

13.3%

パルプモウルド 国内シェア

2025年度

No.1



※Compound Annual Growth Rate（年平均成長率）

拠点数

26年3月期

営業

国内 13　海外 2

生産

国内 6　海外 2

※その他事業セグメント含む

食品トレー用ポリスチレンフィルム 国内シェア

2025年度

トップクラス シェア



Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

02

2027年3月期　第2四半期(中間期)決算報告

連結決算サマリー

前年比で増収・減益となった

売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
12,622百万円	378百万円	491百万円	292百万円
前期比 +9.4%	前期比 △6.2%	前期比 △4.6%	前期比 △0.1%

外部環境

緩衝機能材

- 猛暑や長雨などの天候不順により青果物の収穫量が減少、包装資材の需要にも影響
- 環境配慮意識の高まりや中東情勢不安を背景に、紙製パッケージへの転換需要が拡大

包装機能材

- 重包装袋は国内需要減少、ASEAN市場は成長維持も中国経済の鈍化が影響
- フィルムは食料品の値上がり等により食品向けの需要の減少および中東情勢を背景とした原油価格の変動により原材料価格が不安定に推移

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

第2四半期（中間期）連結決算概要

売上高は、国内外事業における販売価格の改定効果により増収
営業利益・経常利益は、増収効果があったものの、国内外の人件費および減価償却費の増加により減益
親会社株主に帰属する中間純利益は、主に連結子会社の合併に伴う税負担の軽減効果により、前年並み

（百万円）

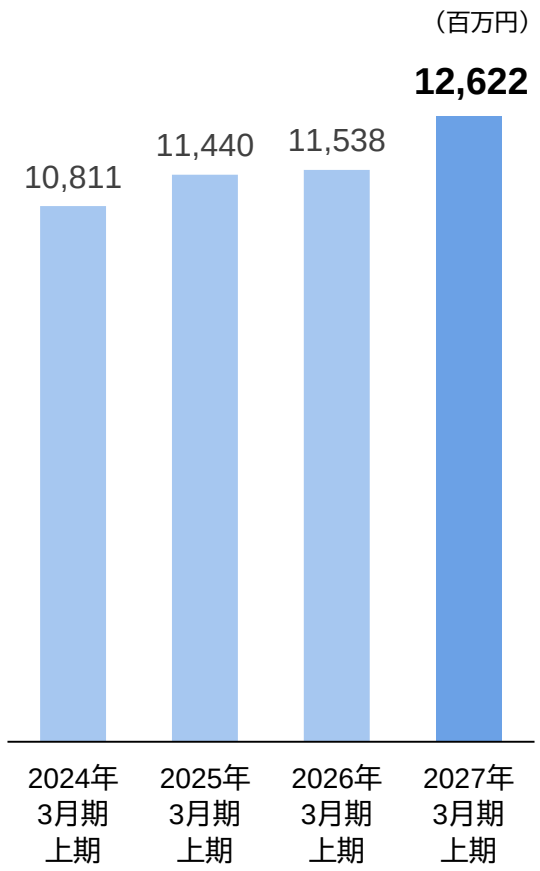
	2026年3月期 上期実績	2027年3月期上期 実績	2027年3月期上期 売上比	増減額（増減率）
売上高	11,538	12,622	-	+1,083（+9.4%）
営業利益	403	378	3.0%	△24（△6.2%）
経常利益	515	491	3.9%	△23（△4.6%）
親会社株主に帰属する中間純利益	292	292	2.3%	△0（△0.1%）

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

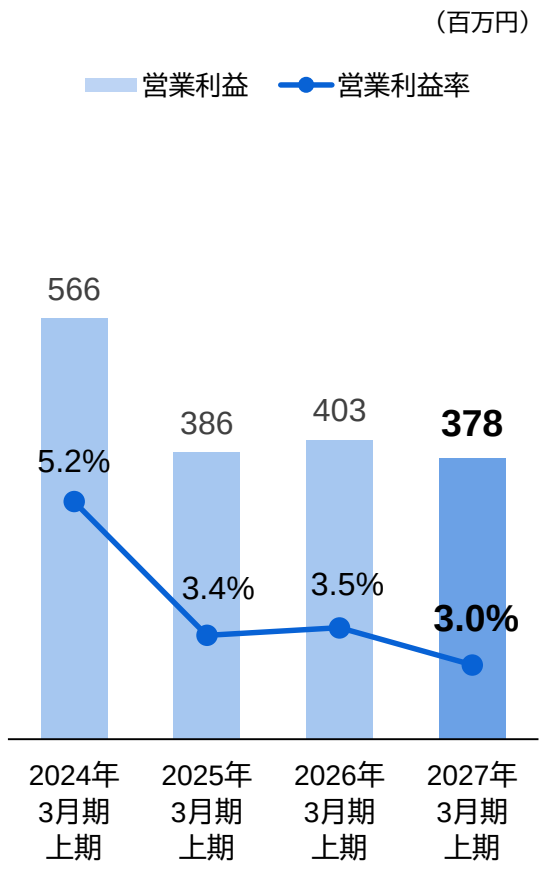
連結業績推移

売上高は販売価格の改定効果や販売数量の増加により増収傾向にある一方、利益は昨今の事業運営コストの増加により減益傾向が継続

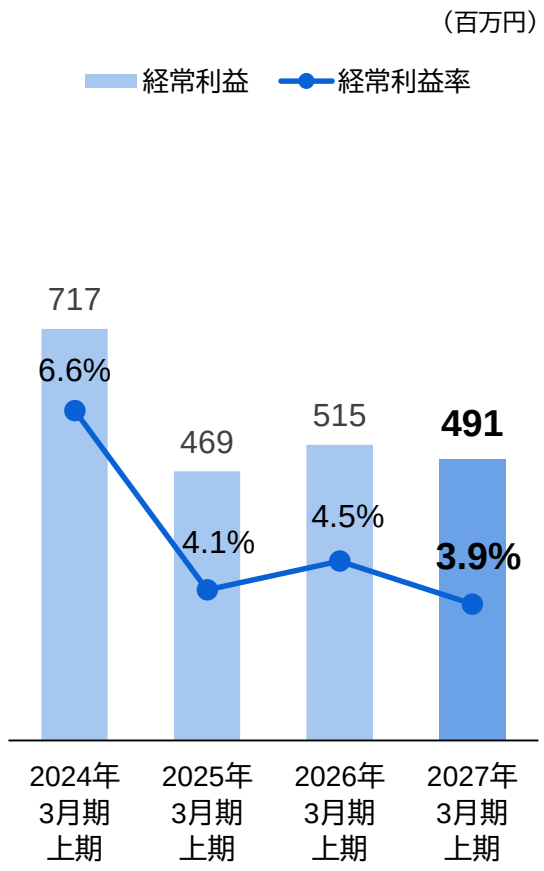
売上高



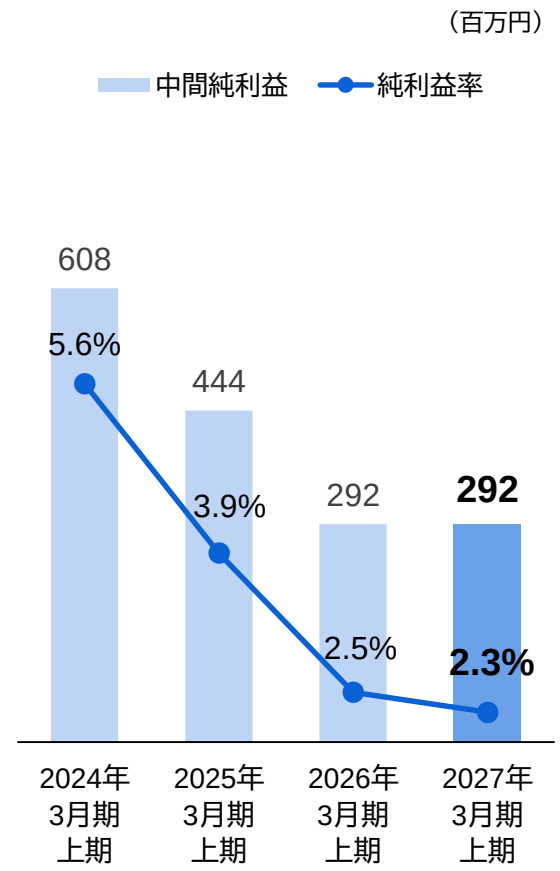
営業利益



経常利益



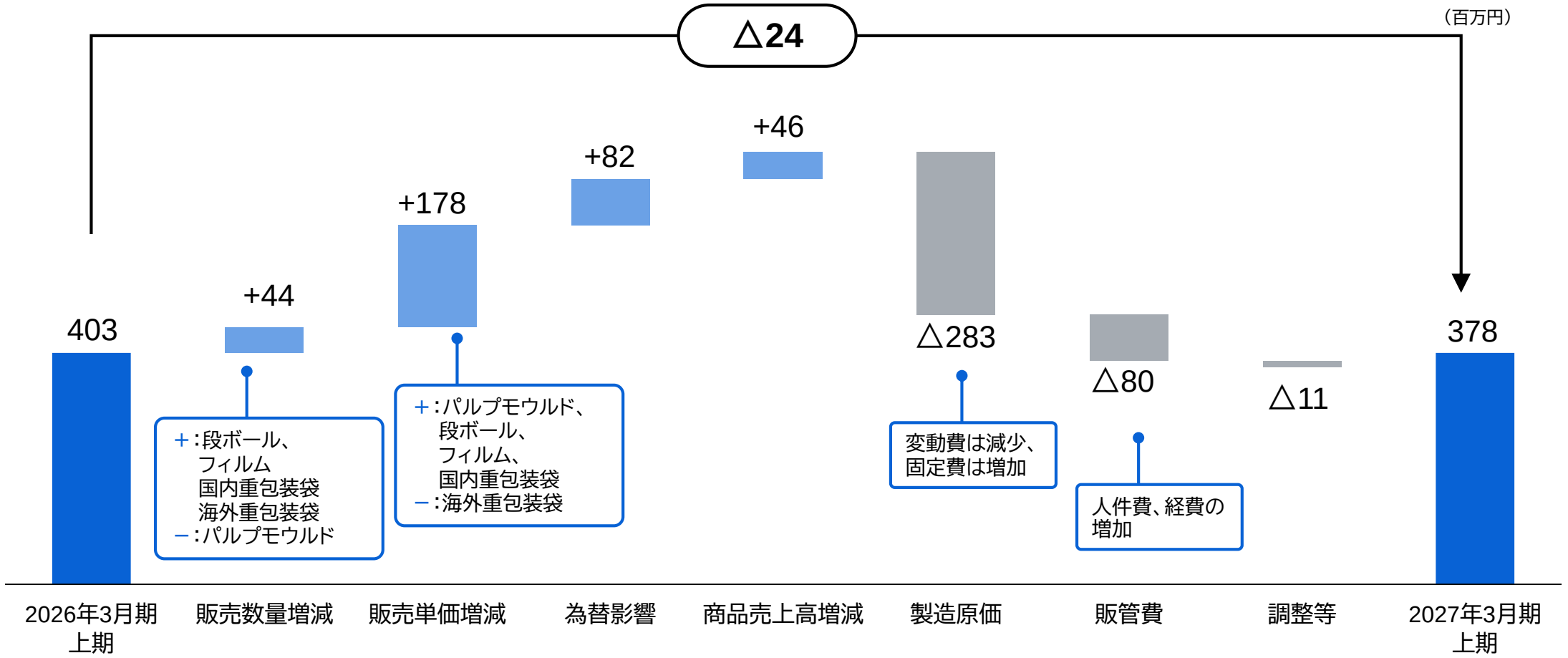
中間純利益



Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

営業利益の変動要因分析

営業利益は前年比で24百万円減少し、3億78百万円となった
販売価格の改定効果はあるものの、人件費や減価償却費等の固定費増加の影響により、減益



Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

セグメント別　決算概要

（百万円）

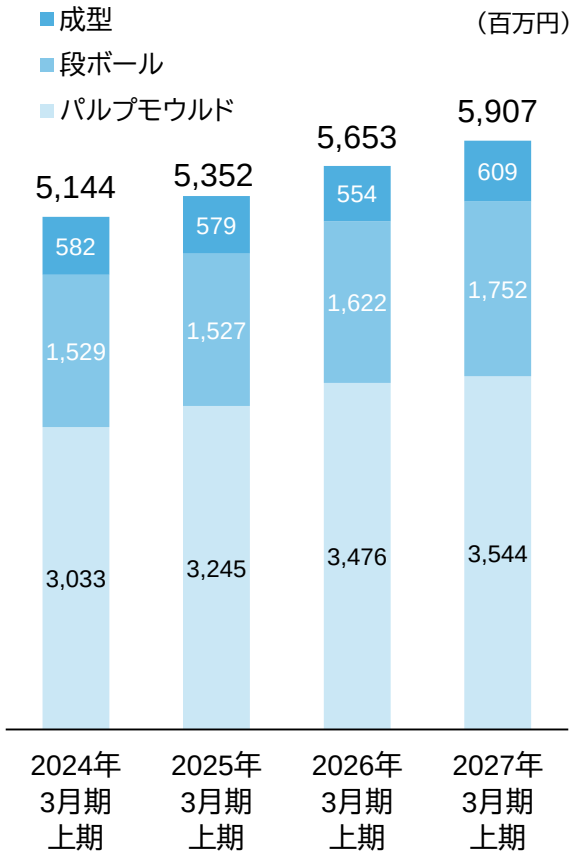
		2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	増減額（増減率）
緩衝機能材事業	売上高	5,653	5,907	+253（+4.5%）
	セグメント利益	597	422	△175（△29.3%）
	セグメント利益率	10.6%	7.1%	△3.4pt
包装機能材事業	売上高	5,643	6,573	+930（+16.5%）
	セグメント利益	339	567	+228（+67.3%）
	セグメント利益率	6.0%	8.6%	+2.6pt

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

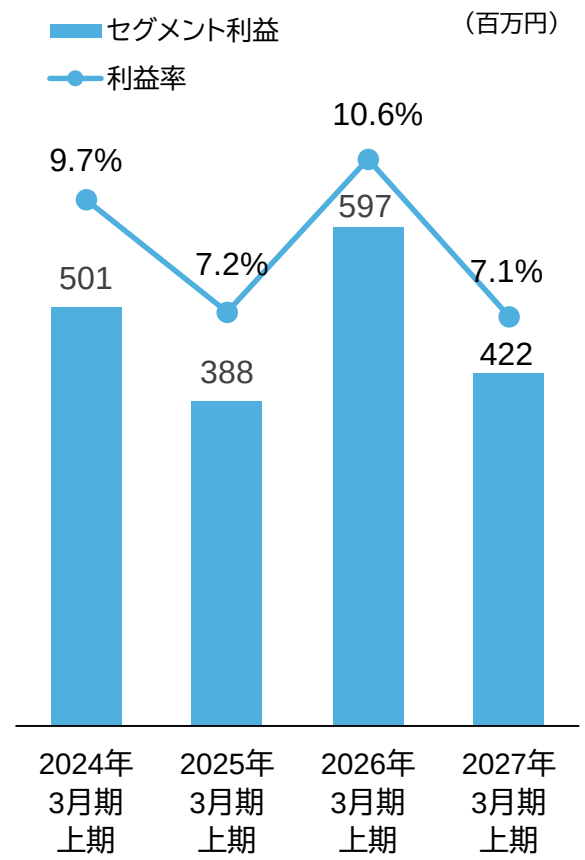
セグメント概況　緩衝機能材事業

売上高は、販売数量の増加および販売価格の改定効果により、増収
利益は、人件費の増加およびパルプモウルド部門における新設備導入に伴う減価償却費の増加により、減益

売上高



セグメント利益



部門別要因

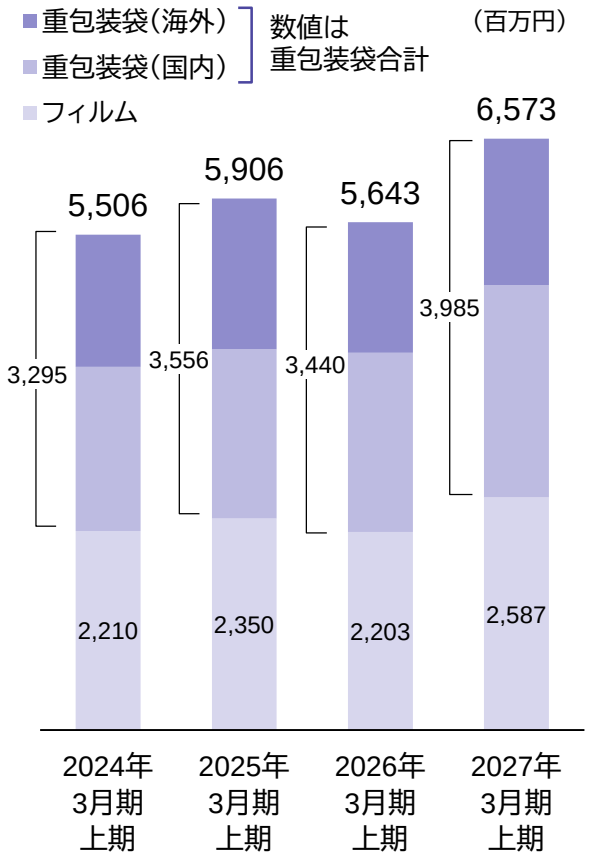
- パルプモウルド部門は、販売数量は青果物用トレーでは柑橘類向け、トマト向けトレーが前年比増、工業用トレーでは持ち帰りドリンク用トレーが堅調に推移、さらに部門全体で販売価格の改定を実施したことにより増収
- 段ボール部門は、主に工業分野向けの販売数量が増加したことおよび、販売価格の改定により増収

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

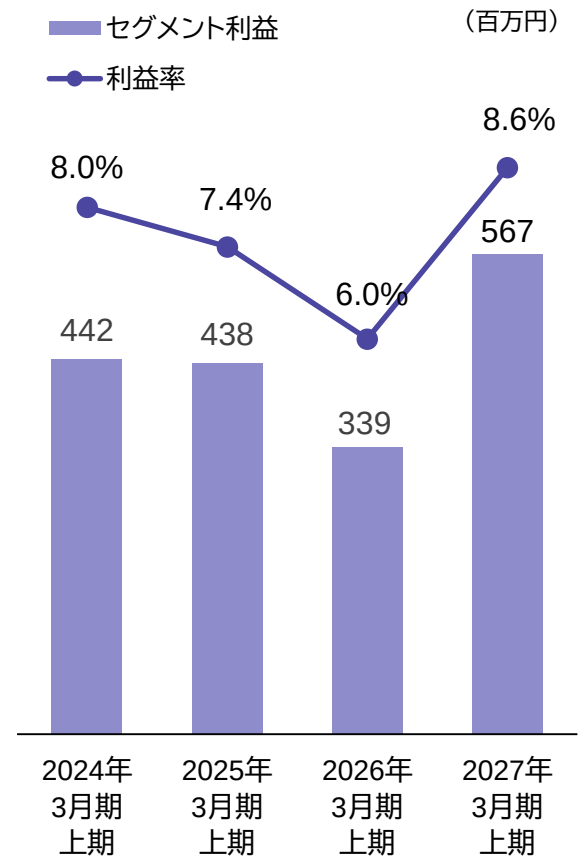
セグメント概況　包装機能材事業

売上高は、販売数量の増加および販売価格の改定効果に加え、海外重包装袋部門における為替の影響もあり、増収
利益は、主にフィルム部門および国内重包装袋部門の増収効果により、増益

売上高



セグメント利益



部門別要因

- フィルム部門は、輸出向けポリスチレンフィルムの販売数量の増加および原料市況の上昇に伴う販売価格の改定により増収
- 国内重包装袋部門は、合成樹脂向け販売数量の減少はあったものの、製粉向け、化学薬品向けおよび飼料向けの販売数量が伸長したことに加え、販売価格の改定により増収
- 海外重包装袋部門は、食品向けが需要減となったものの、飼料向け等の販売数量回復に加え、為替の影響もあり増収

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

連結貸借対照表

（百万円）

	2026年3月期末	2027年9月末	増減額	主な増減要因
流動資産	14,345	13,875	△469	現金及び預金の減少等
固定資産	13,709	13,941	+232	機械装置及び運搬具の増加等
資産合計	**28,054**	**27,817**	**△237**	
流動負債	6,819	6,285	△534	その他の流動負債の減少等
固定負債	1,623	1,582	△40	その他の固定負債の減少等
負債合計	**8,442**	**7,868**	**△574**	
純資産合計	**19,611**	**19,949**	**+337**	
負債純資産合計	**28,054**	**27,817**	**△237**	
自己資本比率	**69.7%**	**71.5%**	**+1.8pt**	

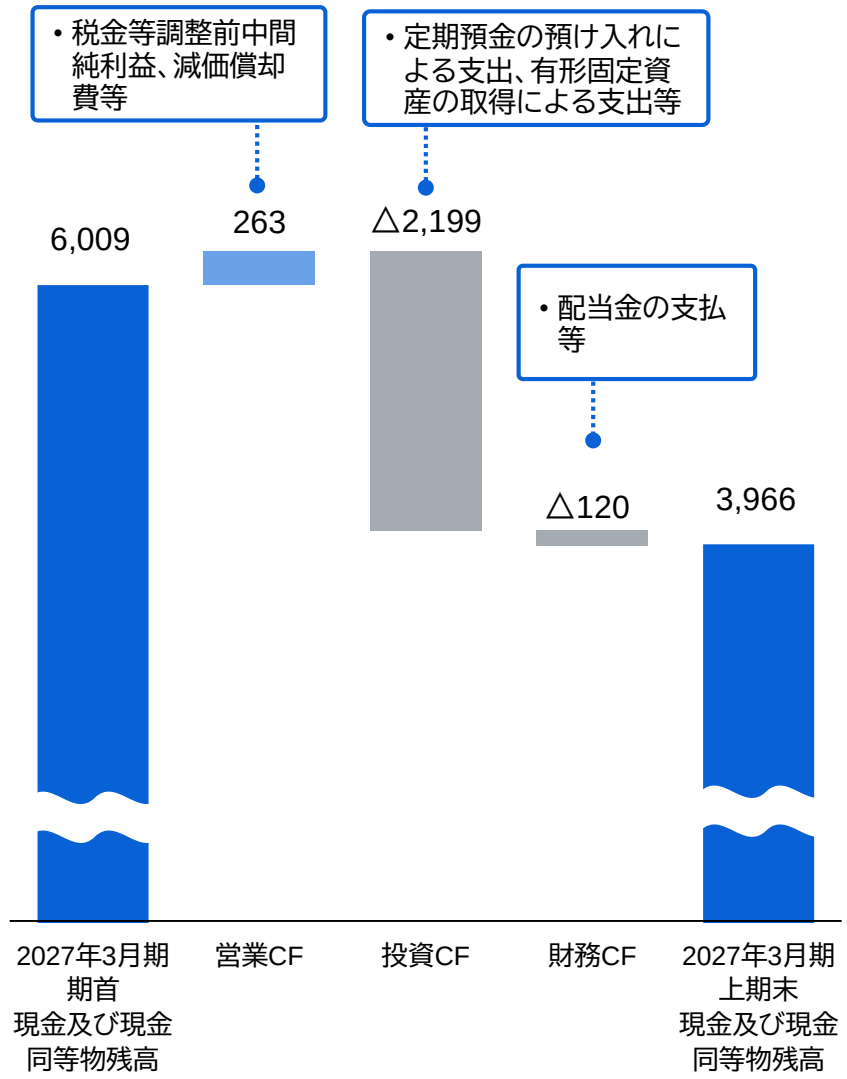
Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

連結キャッシュ・フロー

（百万円）

	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	増減額
営業CF	1,054	263	△790
投資CF	△1,108	△2,199	△1,091
財務CF	△313	△120	193
現金及び現金同等物期末残高	6,938	3,966	△2,972

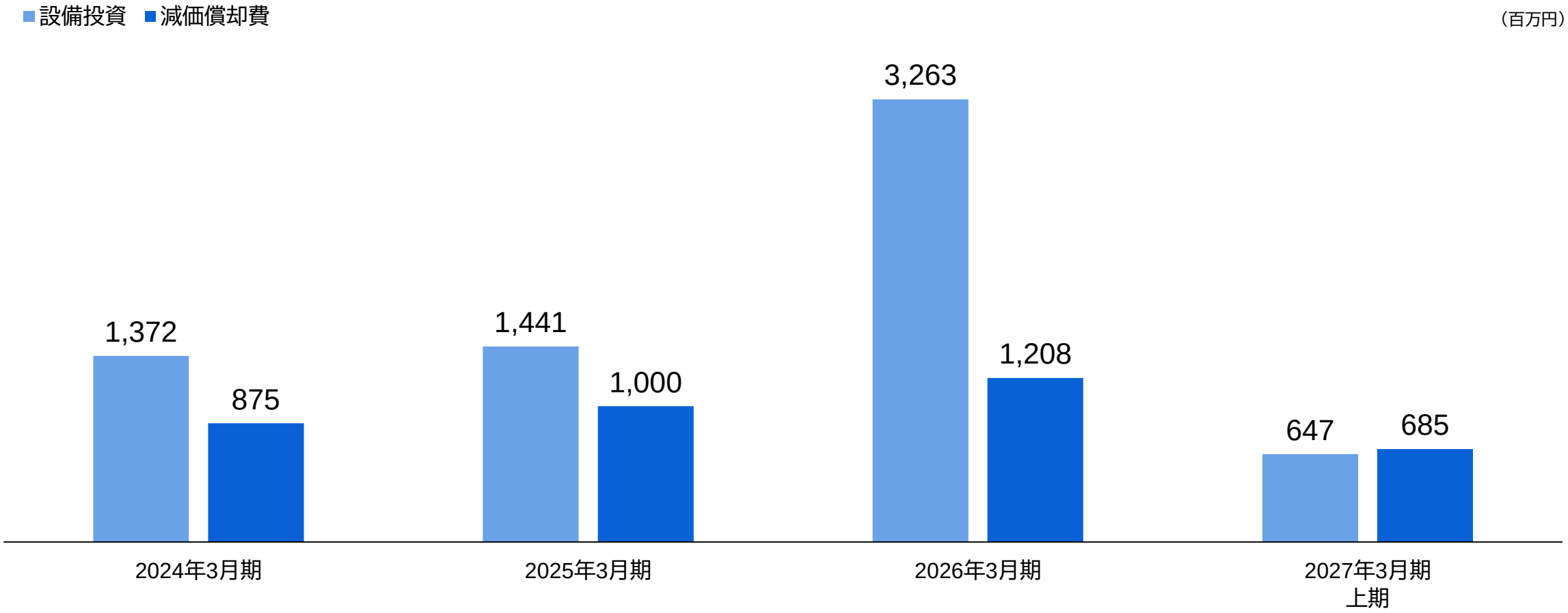
（百万円）



Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

設備投資額・減価償却費

中期経営計画に則り、段階的に成長投資ならびに設備更新を実施



Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

03　2027年3月期　業績予想

連結業績予想

売上高は、原材料価格の高騰に対応するための販売価格の改定および新規・拡販の効果により増収の見込
利益は、増収効果はあるものの、将来の成長に向けた戦略的投資を加速させることから減益の見込

（百万円）

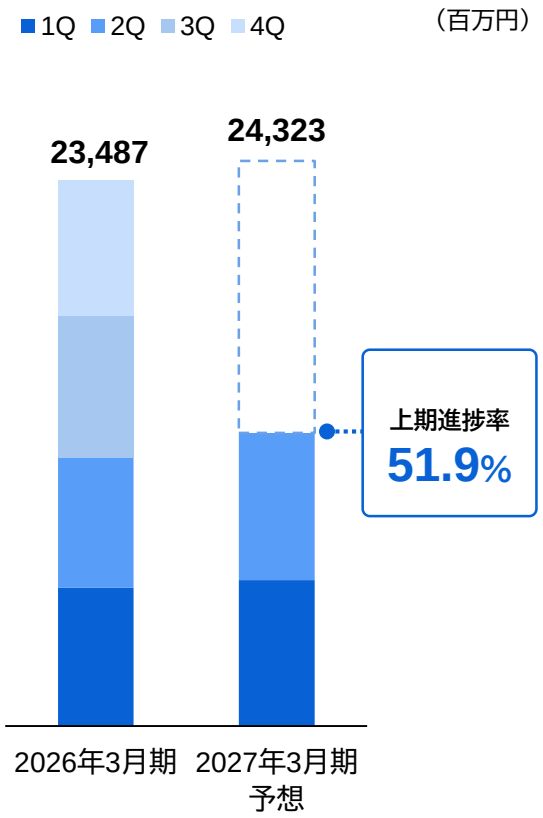
	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	2027年3月期 売上比	増減額（増減率）
売上高	23,487	24,323	-	+834（+3.6%）
営業利益	717	392	1.6%	△325（△45.4%）
経常利益	991	602	2.5%	△389（△39.3%）
親会社株主に帰属する当期純利益	724	416	1.7%	△307（△42.5%）

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

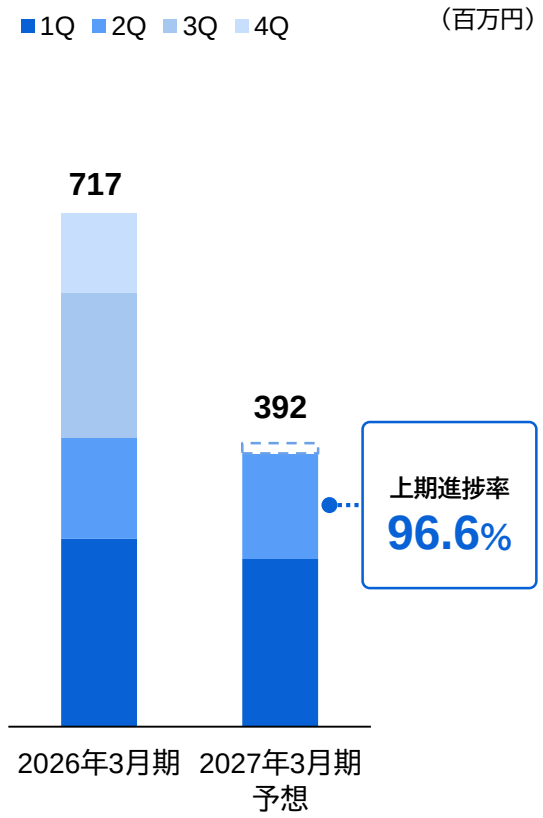
通期業績予想に対する進捗

上期の各段階利益は通期業績予想に対していずれも堅調に進捗したものの、下期の外部環境リスクを鑑み、通期業績予想は据え置きを判断。
今後は目標達成を目指しつつ、第3四半期の動向を精査し、必要に応じて適切な修正を行う

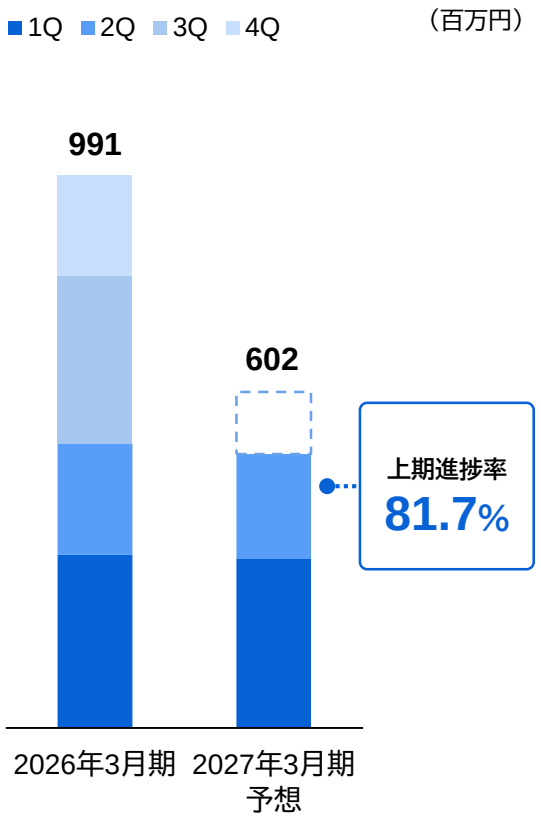
売上高



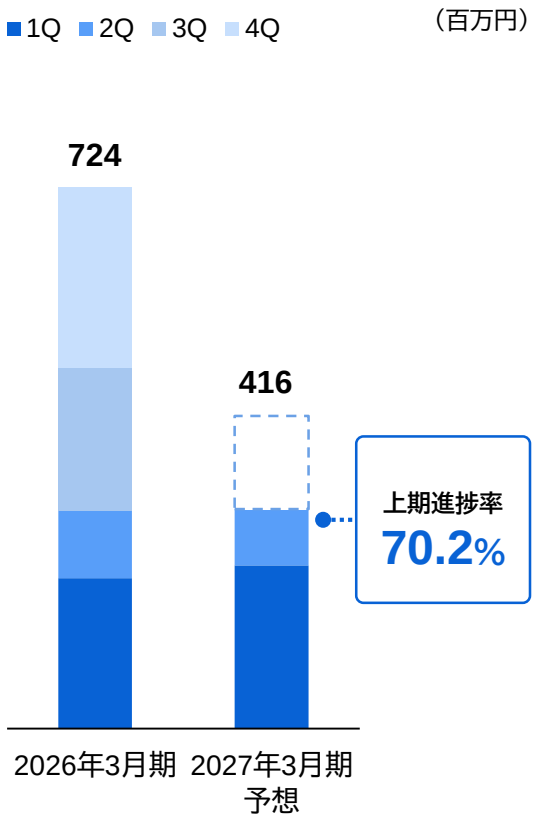
営業利益



経常利益



当期純利益



Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

下期の外部環境リスクと対応策

下期は変動費高騰や不透明な市場環境が懸念されるものの、各種施策で着実にコントロールし、通期予想を上回る業績達成を目指す

下期の懸念材料・外部環境リスク	当社の対策・対応方針
変動費（エネルギー・物流費等）のさらなる高騰 （コスト増による粗利率の圧迫）	• 価格改定の継続推進（タイムリーな価格改定の実施） • 生産効率化、原価低減、配送効率化
中東情勢緊迫の長期化 （調達コストの変動リスク）	• 調達リソースの確保（現時点では調達に支障なし） • 原料供給動向・顧客需要動向の継続的モニタリング、高騰時の価格改定
事業環境の変化 （新規拡販遅延、海外事業における需要動向の変化等）	国内事業：既存顧客のシェアアップ、進行中の新規案件の実績化を加速 海外事業：マレーシア・シンガポール・タイを中心とした新規・既存拡販の実績化

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

株主還元

1980年の上場以来、一度も減配・無配なし。今後も引き続き安定的な配当を実施
今期の中間配当は、当初予想通り1株あたり26円の配当を決定

配当方針

生産性の向上等による利益体質強化を図りながら、将来の事業展開に備えた内部留保を確保しつつ、**DOE2.0%以上**を目安に安定的な配当を実施

株主優待

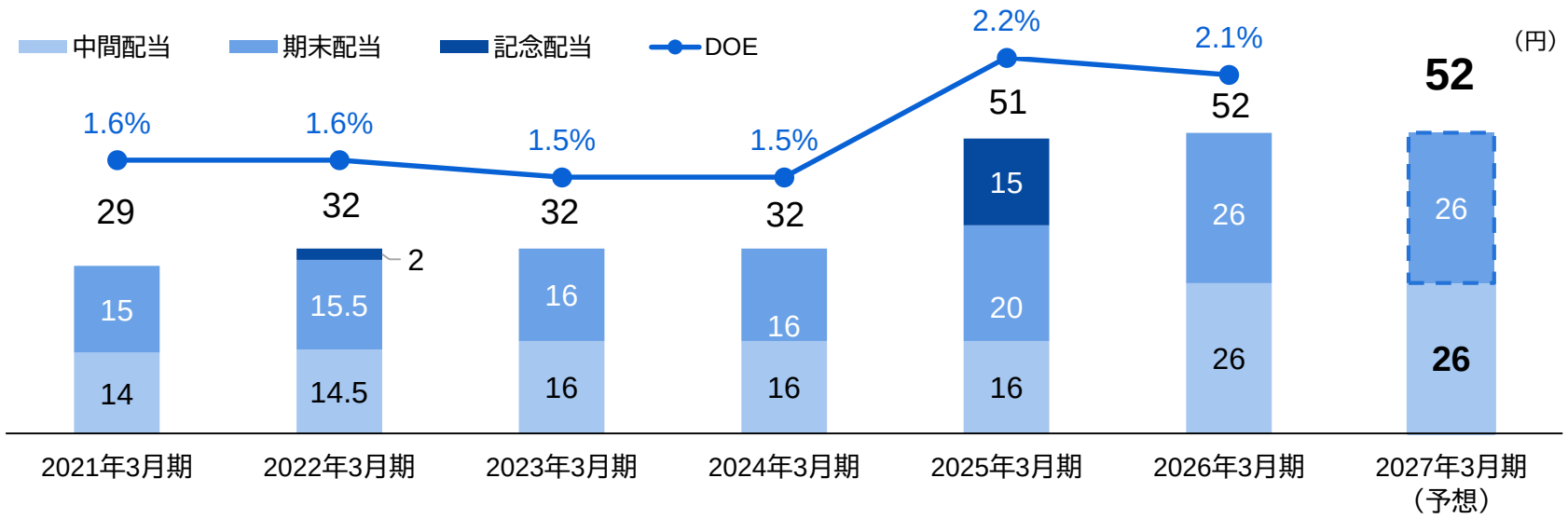
保有株式数に応じた株主優待制度・長期保有優遇制度として、QUOカードを進呈

2027年3月期予想

1株あたり配当金

52円

1株あたり配当金とDOE推移



1株当たり配当金は2024年10月1日付で実施した株式分割を考慮した数値としています。

Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

04 APPENDIX

上期のトピックス

パルプモウルド茨城工場　新設備が稼働

- 茨城工場の生産ラインを増強、現状の高負荷状況を改善するとともに供給力の強化を図る。



「AGTS農業展in愛知」に出展

- ゆりかーごに加え、トマトトレー・花菜ポット等のパルプモウルド製品を展示



メディア出演

- テレビ東京
  「知られざるガリバー」
- ログミーFinance主催
  「個人投資家向けIRセミナー」

書き起こし記事はこちらから

アーカイブ動画はこちらから



「日本パッケージングコンテスト2026」入賞

- 「輸送包装部門賞」
  リサイクルリキッテナー
  - 東都成型株式会社様、フジモリ産業株式会社様との共同開発



Copyright©Ohishi Sangyo Co.,Ltd. All rights Reserved

未来を包む - Inclusion for Future -

大石産業株式会社

本資料についてのお問合せ先

大石産業株式会社　経営企画室　IR担当

本資料の将来に関わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、
現状または将来のリスクや不確実な要素が含まれています。
また、実際の業績は経済情勢の変化、法的規制の変化、自然災害等により変動する可能性があります。